



2005.5.24

民主党プレス民主編集部
〒100-0014
東京都千代田区永田町1-11-1
電話 03-3595-9988(代表)
press@dpj.or.jp
http://www.dpj.or.jp
民主党愛知県総支部連合会
名古屋市東区泉1-12-34
セントラルアベニュー1223 9F
電話 052-951-7881



[民主党、名古屋市会・緑区補選に勝利！](#) / [県連政策調査会 個人情報保護法案の勉強会を開催](#) / [ポスト万博・政策プロジェクトチーム、初会合 後房雄・名大教授、公共経営革命とNPOについて講演](#) / [ジャパン・リーダーズ・カレッジ 第2期生募集](#) / [日進市東部丘陵の開発問題について 現地視察、地域住民からのヒアリングを実施](#) / [幹事会報告\(4月12日/5月14日 抜粋\)](#) / [編集後記](#)

民主党、名古屋市会・緑区補選に勝利！

岡本康宏氏、自民候補に圧勝、初当選

4月24日、名古屋市会・緑区補欠選挙が投開票され、民主党公認の岡本康宏氏が自民党候補を大差で破り当選を果たした。

今回の補選は日本歯科医師連盟に絡む衆院愛知3区の選挙違反事件で自民党の市議が辞職したことに伴うもの。民主党愛知県連も総力を挙げて臨み、連日県議・名古屋市議が支援に入ったほか、終盤には菅直人・前党代表も応援に入るなど、必勝を期した取り組みにより見事勝利した。

これにより、名古屋市会における自民との差は2議席に広がり、引き続き第1会派の重責を名古屋市政において果たすこととなった。



近藤昭一・衆議院議員、吉田伸五・民主党名古屋市会議員団長と当選の喜びを爆発させる岡本康宏氏（中央）

名古屋市長選挙 松原たけひさ氏が3選を果たす

同日行われた名古屋市長選挙でも、民主党の推薦する現職の松原たけひさ氏が3選を果たした。

松原氏は連合愛知の推薦を受けた他、自民、公明の各党推薦を得て、共産推薦の候補を大差で破り当選した。

なお、民主党愛知県連は推薦決定に先立ってマニフェストの検討を行い、その内容について、行財政改革や子育て支援、地域振興策等で従来以上に踏み込んだもので、その実現性も高く、総合的に勘案して安定感のある政策であり、ポスト万博の名古屋市の舵取りを委ねるに足ると判断、その上で今回の選挙に取り組んだ。今後、マニフェストがしっかりと守られていくのか注視しつつ、民主党は与党第一党としての重責をしっかりと果たしていく。

豊田市議会増員選挙、 東海市、武豊町の首長選挙でも推薦候補が当選

また、同日投開票の豊田市議会増員選挙(藤岡選挙区)及び東海市長選挙、武豊町長選挙においても、党推薦候補である作元志津夫氏、鈴木淳雄氏、粕山芳輝氏がそれぞれ当選を果たした。

なお、選挙結果は表の通り。

名古屋市会緑区補欠選挙・開票結果

岡本康宏 28(民主・新)	当 23,978
中里高之 40(自民・新)	16,116
北田幸宏 40(共産・新)	8,350
柴田隆治 76(無所属・新)	1,922
投票率	31.29%

名古屋市長選挙・開票結果

松原武久 68(無所属・現)	当 320,149
樽松佐一 49(無所属・新)	139,576
投票率	27.50%

豊田市増員選挙(藤岡選挙区)・開票結果

作元志津夫 46(無所属・新)	当 4,296
阿垣剛史 60(無所属・新)	当 3,126
浅野篤宏 53(共産・新)	1,150
投票率	65.21%

東海市長選挙・開票結果

鈴木淳雄 59(無所属・現)	当 22,569
-----------------------	-----------------

平田哲彦 62(無所属・新)

4,833

投票率

34.89%

武豊町長選挙・開票結果

羽山芳輝 57(無所属・現)

当 10,173

天木一馬 53(無所属・新)

7,552

投票率

56.19%

[▲
top](#)

県連政策調査会 個人情報保護法案の勉強会を開催

4月1日の個人情報保護法の全面施行にあわせて、県連政策調査会により全3回の勉強会が企画・開催された。

3月26日、第1回目の勉強会には、細野豪志衆議院議員(民主党・個人情報保護法ワーキングチーム座長)を講師に招き、国会審議等を通じて明らかになった問題点、法律の基本的な考え方を確認した。

続いて4月9日には山根木晴久氏(連合・政治センター事務局次長)を講師に第2回の勉強会を開催、政治活動における個人情報の取り扱い、実情に即した運用の注意点等、事例を挙げた説明があった。

第3回(5月14日)の講師は五百蔵洋一氏(民主党顧問弁護士)。実際の法解釈の観点からの留意事項と具体的な対処策の解説がなされた。

それぞれ実践的な、極めて有意義な勉強会となった。日々の政治活動さらには選挙運動上、触法することのないよう、今後しっかりと配慮、対応していきたい。



細野豪志 衆議院議員 (右から2人目)
(民主党・個人情報保護法ワーキングチーム座長)

[▲
top](#)

ポスト万博・政策プロジェクトチーム、初会合 後房雄・名大教授、公共経営革命とNPOについて講演

空港、万博の二大事業は地域の官民一丸となった取り組みにより成功を収めつつある。しかし、これを新たな地域づくりに向けたスタートと位置付けたとき、明日の愛知の創造に向けた新たな政策目標とはいかなるものか、地域に根ざした責任政党として、県民に次代のメニューを提供していかねばならない。その期待に応えるべく、県連「ポスト万博・政策プロジェクトチーム」は活動を開始した。

5月9日、プロジェクトチームは、後房雄・名古屋大学大学院法学研究科教授を招き「公共経営革命とNPOの台頭～公的諸制度の再設計へ向けて」とのテーマでお話を伺った。

後教授は、民主党として新しい政府像(分権、自治、NPO)の構想が急務であると指摘する。GNPにおける政府財政規模の推移等から、いまは社会の中での政府の役割の転換期にあることを示した。ポスト万博の行政の方向性についても、二大事業の成功を目標とした取り組みから、いよいよ質的に新しい地域経営のシステムを構築するべく、公共部門の改革を図ることが重要となる。そのポイントが、今回のテーマにある公共経営革命とNPOである。

公共経営革命(ニュー・パブリック・マネジメント)とは、民間の経営手法を取り入れた行政改革である。自治体の提供する行政サービスの出発点を「顧客」としての住民のニーズに求める、自治体経営を企業やNPOなどの住民組織と協働しながら展開する、政策サイクル(企画立案、決定、実施、評価)を通じて住民の視点に立った効果的かつ効率的な行政サービスの提供と具体的な仕組みづくりをすすめる、といった手法を実践する。90年代後半から、行政評価導入などによる戦略経営を目指す自治体が登場しつつあるが、各地で登場している改革派首長の志向もあり、この流れは今後もさらに強まるものと思われる。

公共経営革命において主要なセクターとなるのがNPOである。政策サイクルのうち政府・自治体しか担えないのは決定のみであり、企画立案、実施、評価においてはNPOが積極的に参画し一定の役割を果たすことが期待される。そのためにも、「かくれ行政」の政府外郭団体、業界団体等、つまり「えせ民間」ではなく、本当の意味でのNPOに育ててもらふ必要がある。NPOを社会全体、行政の在り方の根本に絡めて位置付ける。すなわち社会問題への対処においては、国家が条件を整備し、コミュニティ、NPO団体が実際的な役割を果たす。もちろんその上で、全体の方向付け、舵取りをするのは政治を中心とした政府である。但し、道州制や市町村合併で効率的な大きな単位の政府をもったときに、実施は効率的に大規模に、しかし決定はなるべくきめ細かく住民の意思を反映する(自治体内分権)、その両者をどう組み合わせるのか、という点が課題となる。

後教授は最後に、改革の担い手としての民主党に大きな期待を表明するとともに、今後、大きな影響力を有するであろう改革派首長の支持を民主党が獲得するために、彼らの信頼感をいかに確保するかが課題であり、例えば、首長選で相乗りばかりしていたのではとてもそれはおぼつかない、との指摘をして話を締めくくった。

ポスト万博の課題として、行政そして民主党が果たすべき役割について、示唆に富む講演で



後房雄氏 (名古屋大学大学院教授)

あった。引き続き、提示された課題について議論を深めていく予定である。

[▲
top](#)

ジャパン・リーダーズ・カレッジ 第2期生募集

JLCは、地域を良くしたい、国を良くしたい、世界を良くしたい、という思いを共有する仲間が集まり、お互いに切磋琢磨しあうことを目的としています。この中から、様々な分野で活躍する人材が輩出されることを期待しています。

第1期は昨年4月に開講、今年3月に修了しました。集まった70名の仲間は、年齢は18歳から60歳台まで、会社員、行政マン、NPO関係者、主婦、学生・予備校生、さらには現職の地方議員、高校教師、大学教員など、多彩な皆さんが参加されました。

そしていよいよ7月から第2期がスタートします。多くの皆さんのご応募をお待ちしています。なお、その概要、募集要項は次の通りです。



Second Stage
2005.7~2006.9

次代を担う仲間たちを募ります

【募集要項】

- 募集人員 第2期生定員 30人（応募状況によって変更有）
継続第1期生 希望者（30人程度）
- 第2期生募集資格 年齢16歳以上、JLCの趣旨を理解し、積極的に参加できる方
- 応募〆切 6月3日（郵送の場合は6月3日消印有効）
- 提出書類 所定のエントリーシートにご記入の上、JLC事務局まで提出願います。
エントリーシートは、JLC事務局（TEL 052-951-8171、所在地は県連に同じ）までご請求いただくか、JLCオフィシャルホームページ <http://jlc1st.com/> からダウンロードをお願いします。
- 選考 面接を行います（日程は後日連絡、選考結果の通知は6月下旬）。
応募人数が多い場合には、運営上の観点（年齢、職業、性別等の構成バランス）から選考をさせていただき、応募者全員にご参加頂けない場合がございます。予めご了承ください。
- 受講料（参加費） 第2期生 10万円（学生 6万円）
継続第1期生 5万円（学生 3万円）

(注) 受講料には合宿参加費・食費等は含まれません。

○日程

開校式及び第1回 7月9日(土)午前10時～午後3時

毎月1回土曜日の開催です。今年8月には合宿(8月26～28日)を行います。

【講師陣(予定)】

安念 潤司	成蹊大学法科大学院教授(憲法)
後 房雄	名古屋大学教授(政治学)
大塚 耕平	参議院議員(中央大学大学院客員教授)
北川 正恭	早稲田大学大学院教授(前三重県知事)
北口 末広	近畿大学人権問題研究所教授(人権問題)
児玉 克哉	三重大学教授(リンカーンフォーラム中部代表、地域経済)
清水 哲太	トヨタホーム(株)代表取締役会長(経営論)
城 正憲	弁護士(元東京地方検察庁検事)
ツルネン マルティ	参議院議員
野村 隆	徳島文理大学教授(地方分権)
鳩山 由紀夫	衆議院議員(元民主党代表、元内閣官房副長官)
平林 久和	(株)インターラクト代表取締役(ゲームアナリスト、文化論)
村尾 信尚	関西学院大学教授(公共政策)



日進市東部丘陵の開発問題について 現地視察、地域住民からのヒアリングを実施

県連政策調査会は4月4日、先の勉強会で取り上げた日進市東部丘陵における保安林解除と資源採掘計画について、現地を視察するとともに地域住民からのヒアリングを日進市役所において行った。

視察団は前田雄吉・県連政調会長、富田昭雄・同副会長と、関係する地域の選挙区から近藤昭一、小林憲司の両代議士、波形昌洋 県議、水谷満信 県議、加えて高木ひろし 県議、森井元志 県議、千賀重安 大府市議の9名が参加した。

現地を視察した後、まず日進市の対応について、佐護彰・日進市長より経過と今後の対応も含めて話を聞いた。それから、地域住民からのヒアリングとして、隣接地区の区長、隣地者の

名古屋商科大学、市民団体の代表、天白川流域住民が入って、それぞれの意見、要望等を確認した。

開発と環境の問題は調整に様々な困難を伴うものであるが、本件については、とりわけ現行法の隙間をついたようなところがある。環境をテーマにした愛・地球博が盛況を極める一方、その傍らで、地域住民の声を無視したかたちで開発が推し進められていき、結果として豊かな水と緑が失われ、安全・安心の生活が脅かされるようなことは、決してあってはならない。



[top](#)

■幹事会報告 (4月12日／5月14日 抜粋)

■選挙対策方針について

愛西市長選挙 候補者について

- ◇ 推薦候補者名 八木忠男(やぎ・ただお)氏 (新、58歳)
- ◇ 選挙執行日 5月15日(告示5月8日)
- ◇ 開票結果

八木忠男 58(無所属・新)	当 16,125
大島一郎 54(無所属・新)	15,740
永井初子 55(共産・新)	3,494
投票率	67.28%

名古屋市長選挙、名古屋市議員緑区補欠選挙、豊田市議会議員増員選挙(藤岡選挙区)、東海市長選挙、武豊 町長選挙について(報告)

■次期統一地方選挙候補者擁立委員会について

5月7日(土) 第1回目の会議を開催、候補者擁立の基本方針等を決定

■刷新プロジェクトチームについて

4月27日(水) 本年度の取り組み内容の確認、公設秘書の状況把握

編集後記

2005年は愛知県にとって特別な年です。セントレアの開港をはじめ県下各地で街の賑わいを感じさせる出来事が繰り広げられています。とりわけ現在開催中の愛・地球博は世界的規模の一大イベントであり、今、愛知には各国・各地域から人々が集い、そ



して注目されています。ここに至るまでの大勢の方々の努力に敬意を表すべきことはいうまでもありませんが、この万博・新空港景気をいかに持続、恒久化させていくかが今後、この地域のさらなる発展のカギとなるでしょう。民主愛知県連では政調会を中心にポスト万博の取り組みについても研究と検討を進めています。まさに待ったなしの政策テーマです。

本紙面でも報じておりますとおり、この5月までの県下各種の選挙で、私たち愛知民主党は大変ありがたい成績をいただいております。心から感謝申し上げますとともに、この結果が大きなご期待の現れであることを肝に銘じ、党员一丸となって明日の愛知発展のけん引役を果たしていかななくてはならないと強く思っています。ひきつづきともに前進していきましょう。

広報委員 服部将也(名古屋市議員・北区選出)

インターネット・アドレス

<http://www3.ocn.ne.jp/~minshu7/>
e-mail:minshu@dream.ocn.ne.jp


[top](#)